

案件化調査

ミャンマー国イ草の栽培および加工・製造技術の導入にかかる案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社大島屋
- 提案企業所在地：岡山県倉敷市
- サイト・C/P機関：ザガイン管区カター県コーリン郡及びウィンドー郡他等・農業灌漑省、協同組合省、商業省等



ミャンマー国の開発課題

- 少数民族も多い北部地域の農業の生産性の低さ、農民の収入の低水準
- 2015年に発生した洪水被害からの復旧・復興

中小企業の技術・製品

畳や花ござ、ラグの元になるイ草の

- 栽培技術（多品種を利用した細かな栽培工程管理等）
- 加工・製造技術（多数の編み上げ方法を使った、製織機（織機）による製品化技術等）
- 販売技術（市場のニーズを捉えた企画・開発力等）

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 関連政府機関によってイ草の栽培および加工・製造技術が北部地域を中心とした農村部へ普及される。生産者グループのマネジメント能力を強化したり、ミャンマー国内ならび海外（日本とそれ以外）への販路開拓の可能性を検証する【JICA中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業】
- 主要生産作物に、農閑期に行われるイ草の栽培および加工・製造を組み合わせ、“農産物の高付加価値化・多様化および農産物加工等を通じた農業収入機会の向上”や“農民組織の育成”を図る。マーケティングも重視する【JICA技術協力プロジェクト】

日本の中小企業のビジネス展開

- 中国以外のイ草の生産拠点を作ることによって、安定してイ草関連製品を製造・販売できるようになる。
- ミャンマー国内ならびに、中国、インド、タイ等諸外国へ、イ草関連製品を販売・輸出できるようになる。